

# ホームヘルパー受講準備コース

## 1. コースの目的

高齢社会の到来に伴って需要が増しているホームヘルパーという職業について紹介し、資格の取り方や講座の内容について情報を提供する

## 2. 学習内容

ホームヘルパーという職業の概要と、3級・2級講座の内容の中で帰国者にわかりにくい部分や外来語を中国語訳付きで学習する

## 3. 主な対象者

日本語レベルは初級修了以上で、ホームヘルパーという職業に興味がある人

## 4. 学習期間

6ヶ月まで（期間内に修了しなかった場合は継続申請が可能）

## 5. 使用教材

「ホームヘルパー入門（DVD付き）」

## 6. 学習プログラム概略

以下6ヶ月の場合だが、受講者のペースで進める

6ヶ月	学習範囲	提出物
1～2 ヶ月目	第1回送付物：受講案内、DVD「ホームヘルパー講座への誘い」、 テキスト「ホームヘルパー入門」第1課・第2課、第1回課題（1～2課）	
	DVD「ホームヘルパー講座への誘い」を見る 第1課「ホームヘルパーという仕事」 第2課「ホームヘルパー養成講座の内容」	→★第1回課題（1～2課）
3～4 ヶ月目	第2回送付物：テキスト「ホームヘルパー入門」第3課・第4課、第2回課題（3～4課）	
	第3課「社会福祉の基本理念」 第4課「高齢者の理解」	→★第2回課題（3～4課）
5～6 ヶ月目	第3回送付物：テキスト「ホームヘルパー入門」第5課・第6課、第3回課題（5～6課）	
	第5課「介護保険制度」 第6課「実習の心得」	→★第3回課題（5～6課）
	修了証送付	

※「ホームヘルパー受講準備」コースのみ、教材送付と課題のやりとりを近畿中国帰国者支援・交流センターが行います。申請や学習継続の意思確認等、事務全般については、中国帰国者定着促進センターで行います。

## 7. このコースのスクーリングの目的

- ・課題中の質問部分を取り上げて話し合うことによって、学習内容を自分にひきつけて考えられるようにする
- ・日本と中国では福祉制度の違いがあるので、互いに知っている範囲で紹介しあい、福祉問題についての関心を喚起する

## 8. このコースのスクーリングの留意点

介護の専門家ではない一般の日本人が知っている知識の範囲で、テキストや課題の中の日本語の理解についての質問に答えればよい（専門的な質問は近畿センターへ）

## 9. スクーリングの流れと活動例（約2時間で計画した場合、以下の活動内容から取捨選択する）

- ①オリエンテーション（初回のみ）：活動内容や頻度の説明、受講者が複数の場合は自己紹介など
- ②直接指導
  - a. 学習相談－1（現在の学習進度など状況把握を軽く行う）
  - b. 課題添削終了者には、添削課題を持参してもらい、質問部分等をもう一度話し合う（\*参照）  
添削担当者からコメントがある場合はそれについても話し合う
  - c. 課題未提出の場合も、質問部分についてどんな考えをもっているかきいてみる
  - d. 学習内容に関する質問受け
  - e. 学習相談－2（学習方法アドバイス、今後の学習計画について話し合い、次回までの目標設定）
  - オプション f. ホームヘルパー養成講座を受講希望の受講生には情報を提供する
  - オプション g. 外来語の復習・・・日常会話でも頻繁に使うものから優先的に行う
  - オプション h. 実技的な部分
    - A. レクリエーション活動の実技として、日本の歌の紹介・練習
    - I. 可能であれば、福祉施設等の見学
    - U. 可能であれば、高齢者が好む料理の調理実習（3級の本講座で行う）

### \* 受講生と話し合う話題の例等

- 第1課 DVDを見てどう思ったか、どんなことを初めて知ったか  
なぜホームヘルパーになりたいと思ったのか
- 第2課 実習日誌の書き方復習（添削担当からのコメントを確認）  
3級・2級講座を受けようと思っているか、どうやって受けるのか
- 第3課 自分なら誰に介護してもらいたいのか、またそれはなぜか  
「社会的入院」の日本での意味確認とそれに対する感想、中国の現状
- 第4課 自分または自分の親が施設に入所することになったら、どんなレクリエーションがいいか  
日本の歌が歌えるか  
「加齢」について実感していること、想像していること
- 第5課 介護保険に関して、適用例が身近にあれば互いに紹介しあう  
日本の障害者福祉についてどんなことを知っているか
- 第6課 中国の高齢者はどんな料理を好むか  
日本の高齢者が好む料理が作れるか

## 10. スクーリング実施状況報告から 活動事例など

### ●外来語が難しい

テキストにたくさん出てくる外来語が難しい。覚えられないというので、テキストからよく使う片仮名語を選び、例文を作成したプリントを用意した。例文から片仮名語の部分抜き、穴埋めする練習を行った。文全体の意味を考える練習にはなったようだ。また、片仮名語の辞書と『福祉カタカナ語辞典』（創元社、2006年発行）を紹介し、少し引いてみた。

### ●会話力が高いが、まとまった文が書けない場合の対応

「『社会的入院』についてどう思うか」という問題に日本語で回答するのが難しいとのことで一緒に考えた。まず、社会的入院自体や本人の中国での経験についてやりとりをして頭を耕した。次にラフに中国語で回答を書き、それを文法は気にせず日本語にしてもらった。今度は中国語でも日本語でもサラサラ書き、こちらも驚いた（たぶん本人も）。その後、一緒に文法を直した。日本語力がないから作文は難しいと本人は言っていたが、Sさんは抽象思考の段階で母語を使っていなかったから難しかったのかも。

### ●ヘルパー講座や奨学金に関する情報提供

本人は、このコースを修了した後、ホームヘルパーの講座を受けるつもりがあるという。インターネットなどで情報を集めた資料を見て、学費や場所や通学日時等を比較してみた。中国残留孤児援護基金の就学援助金のことは知らなかったのので、資料を渡した。時間があれば、情報収集なども一緒に行えばよかったが、今回は講師が行った。

### ◆\*◆\*◆ 資料 ◆\*◆\*◆

1. テキスト「ホームヘルパー入門」抜粋（資料①）
2. 提出課題抜粋（資料②）
3. 提出課題添削例（資料③）
4. 介護職員基礎研修について 研修体系の改訂概要（資料④）

2. 家庭助理員の培養

为了提高护理服务的质量，1982年开始实施聘用培训制度。1991年厚生省（现厚生劳动省）采用按阶段进行培训的体系，开始了家庭助理员1级・2级・3级的认定工作。2006年4月介护保险制度进行了修改，改正后，3级家庭助理员进行的访问介护在2008年3月末以后介护报酬的制度将被取消，3级结业者既使提供服务，也得不到报酬。因此，持有3级家庭助理员资格的人在介护保险制度范围内进行工作已成为不可能了。

家庭助理员并不是一项伴随着考试的资格认定制度，只要学完了一定的实习课程就能领取到相应级别的结业证书。包括身体护理在内的2级为「基础培训」；1级「主任助理员等主要助理员的育成培训」是针对以学完2级课程并拥有一定的实践经验的人员为培训对象的。

课程	概要	时间	备注
1级课程	队伍的运营方式的主任助理员等主要助理员的养成培训	230时间	以2级课程结业者为对象
2级课程	从事家庭助理服务行业人员的基本培训	130时间	3级课程结业人员有免除科目

按照厚生劳动省所规定的课程选择教材，所有课程均采用日语授课，其他语言将不被认可。

即使3级课程没有结业，也可以直接从2级课程开始听课。就业时持有2级证比较有利。但对还没有习惯于用日语来听课的中国归国者来说，尽可能的从3级开始学习，然后再进入2级课程的做法比较有利于打好基础。

家庭助理员育成讲座（＝訪問介護員育成講座）适用于「由厚生劳动省委托的各省行政机关所认可的教育机构发行的结业证、可在全国通用」的体系。

2. ホームヘルパーの養成

介護の質の向上を目指し、1982年より採用時研修制度が始まりました。1991年に厚生省（現在の厚生労働省）が段階別研修システムを採用し、1級・2級・3級の認定が始まりました。その後、2006年4月の介護保険改正により、ホームヘルパー3級修了者による訪問介護サービスは、2008年3月末で介護報酬の設定がなくなることになりました。3級修了者がサービス提供しても、報酬がもらえないと言ったことです。この改正で、ホームヘルパー3級資格では、ホームヘルパーとして介護保険制度内の就労をすることはできなくなりました。

ホームヘルパーは試験を伴う資格制度ではなく、一定の研修を修了すれば各級の修了証が発行されるものです。身体介護を含む2級は「基本的研修」、2級課程を修了し一定の実務経験を持つ者対象の1級は「主任ヘルパー等の基幹的ヘルパーの養成研修」です。

課程	概要	時間	備考
1級課程	チーム運営方式の主任ヘルパー等、基幹的ヘルパーの養成研修	230時間	2級課程修了者対象
2級課程	ホームヘルプサービス事業従事者の基本研修	130時間	3級課程修了者に免除科目あり

ホームヘルパー養成講座（＝訪問介護員養成研修）は、「厚生労働省の規定するカリキュラムに沿ったテキストが使用され、日本語以外での受講は認められていません。厚生労働省の委託を受けた都道府県行政が養成機関を認定し、その機関が発行する修了証が全国で通用する」というシステムになっています。

(資料②)

第1課

☆テキストをよく読んで、答えを記入して提出してください。

请仔细阅读课本，将答案填写后提交

名前 ( )

だい かい かい だい  
第1回課題

<1> 空欄に適切な言葉を記入してください。请在 ( ) 里填写适当的语句。

① ( ) とは、( ) ・ ( ) ・ ( ) の家庭を訪問し、身のまわりの世話や ( ) を行う専門職です。

② ホームヘルパーを派遣する事業のことを、( ) といいます。

③ 2000年から施行された ( ) 法の下では、( ) がホームヘルパーの正式名称です。

④ 1981年国際連合の「国際 ( ) 年」以降、『( )』の理念により、( ) サービスが本格的に進められるようになりました。

⑤ 1991年、ホームヘルパーの段階別研修システムが採用され、1級・2級・3級の認定が始まりました。これは、試験を伴う資格制度ではなく、一定の研修を修了すれば各級の ( ) が発行されるものです。

⑥ ( ) を含む2級は「基本的研修」、( ) 修了者対象の1級は「( ) 等の基幹的ヘルパーの養成研修」と位置づけられています。

中略

<2> 第1課で印象に残ったこと・感想・質問などを書いてください。

请写一下学完第一课后的印象、感想以及疑问等。

<3> DVDを見て、印象に残ったこと・感想などを、書いてください。

请写一下录像观后的印象及感想等。

課題例 I-A

名前 ( A )

<3> 次の質問に答えてください。

答えは中国語でもいいですが、できるだけ日本語で書いてください。

(1) ① 「社会的入院」とは何ですか。

病院での治療の必要のない高齢者が、行き場所がなくて入退院を繰り返している事も多いです。病院での治療の必要のない高齢者が、行き場所がなくて入退院を繰り返していること

② 「社会的入院」は中国にもありますか。

ありません

③ あなたは「社会的入院」についてどう思いますか。

これから高齢者が増える。高齢者社会。社会的入院が必要あり

社会的入院とは、「家族のかわりに社会が介護する」という意味ではありません。適当な施設がないために入院していなければならない... 非常に悪い状況です。

課題例 I-B

名前 ( B )

<3> 次の質問に答えてください。

答えは中国語でもいいですが、できるだけ日本語で書いてください。

(1) ① 「社会的入院」とは何ですか。

実際には福祉施設が不足しているので入所を希望してもなかなか入れないことも多いのです。そのために、病院での治療の必要のない高齢者が行き場所がなくて入退院を繰り返している例があります。これを社会的入院といいます。

② 「社会的入院」は中国にもありますか。

中国にはないと思います

③ あなたは「社会的入院」についてどう思いますか。

現在日本は高齢社会をむかえています。従って国は福祉施設をもっと増やして、患者さん自身から自立復帰を促せる環境を整えるべきです

課題例2

名前 ( C )

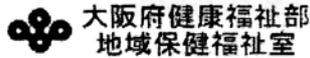
ホームヘルパー養成講座 (2級課程)

施設実習日誌

氏名 ( )

日時	2003年5月15日( ) 9:00 ~ 18:00 (第 日)		
施設名	特別養護老人ホーム「すこやか苑」		
実 習 内 容	時間	項目	内容・備考
	9:00	朝礼	今日の予定を聞く
感想	施設の实習してません。頭中はどうせ仕事が貰いにくい気持ちと経済面も無理があるなので断念しました。でも学習の方が続けます。宜しくお願いします。		

Cさんへ  
 42ページの实習日誌は、35ページの例を見て、41ページの文を読んで、書いてください。本当の实習をしていないとダメなようです。これは日誌を書く練習ですから、日本語で書いてください。もう一枚紙を送ります。



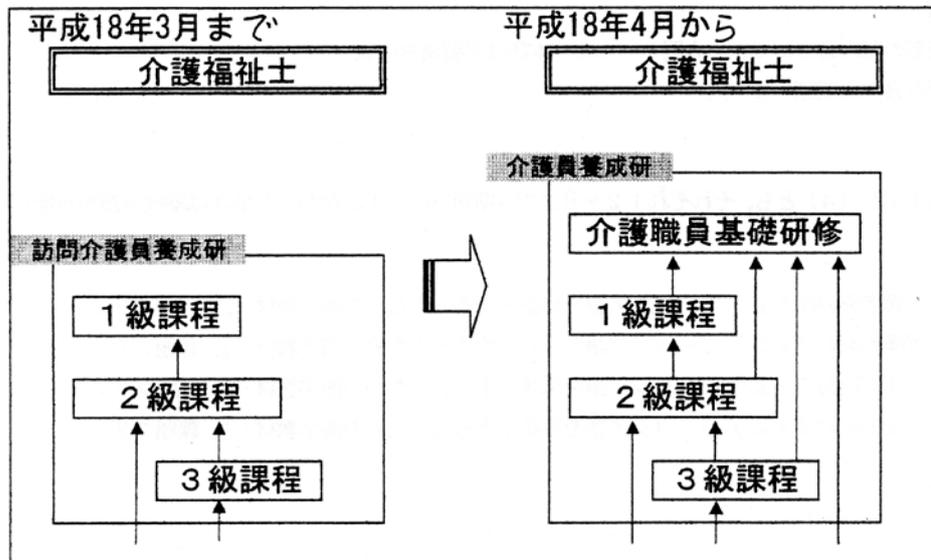
平成18年3月23日更新

# 【介護職員基礎研修について】

平成18年度より、介護職員の研修体系が見直され、「介護職員基礎研修」が新たに追加されました。

## ＜研修体系の改正の概要＞

- これまでの「訪問介護員養成研修」に「介護職員基礎研修課程」(以下、「介護職員基礎研修」という。)が追加され、「介護員養成研修」となりました。
- これまでの「訪問介護員養成研修」(1～3級課程)を修了した者は、「介護員養成研修」(1～3級課程)を修了した者とみなされます。



- ※ 今回の改正により、訪問介護サービス(介護予防を含む。)の従事者要件は、介護福祉士、介護員養成研修修了者(1～3級課程及び介護職員基礎研修)となります。
- ※ 介護職員基礎研修修了者は、訪問介護事業所(介護予防を含む。)のサービス提供責任者となることができます。

研修課程	時間数	受講対象	内容
介護職員基礎研修課程	500時間 (講義・演習360時間、実習140時間)	今後、介護業務に従事しようとする者 又は現に従事している者 (一級・二級課程修了者や一定の実務経験がある方は、一部科目が免除されます。)	介護業務全般に関する専門的な知識・技術を学びます。
一級課程	232時間 (講義86時間、演習62時間、実習84時間)	二級課程修了者で、おおむね1年以上ホームヘルパーとしての実務経験がある者	主任訪問介護員としての知識・技術を学びます。
二級課程	132時間 (講義60時間、演習42時間、実習30時間)	今後、訪問介護業務に従事しようとする者	訪問介護業務に関する知識・技術を学びます。
三級課程	52時間 (講義27時間、演習17時間、実習8時間)	今後、訪問介護業務に従事しようとする者	訪問介護業務に関する基礎的な知識・技術を学びます。

※通信課程の場合、講義部分が通信添削(自宅学習)と面接指導(スクーリング)になります。  
 ※研修事業者によって、研修時間数を追加して実施している場合があります。  
 ※実務経験者・他課程修了者等は一部科目が免除されることがあります。  
 ※三級課程修了者が訪問介護員として提供するサービスについては、平成21年4月以降報酬算定されないとします。